

## 『令和6年度 介護報酬改定説明会』へ参加のご報告

報告者：ケアスタジオ介護相談所 島崎 新一

令和6年3月23日（土）富山県民会館を会場として、『令和6年度 介護報酬改定説明会』が開催されました

今回は『一般社団法人 日本介護支援専門員協会（以下、日本介護支援専門員協会）』と『一般社団法人 富山県介護支援専門員協会（以下、富山県介護支援専門員協会）』の共同主催にて、『富山県民会館』をサテライト会場とした『日本介護支援専門員協会』のWEB配信（zoom）での研修会となりました



研修は3部形式にて催され、日本介護支援専門員協会 柴口里則会長の開会挨拶の後、

第1部は『2024年介護報酬改定を踏まえ2040年を見据えて介護支援専門員に伝えたいこと』と題し、埼玉県立大学理事長・慶應義塾大学名誉教授・日本介護支援専門員協会顧問 田中滋先生による講義

第2部は『令和6年4月介護報酬改定の概要』と題し、厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課 大城正志課長補佐による講義

第3部は『2024（令和6）年介護報酬改定解説と日本介護支援専門員協会の取り組み』と題し、一般社団法人日本介護支援専門員協会 濱田和則副会長による講義

以上、3つの講義をいただきました



当日は約170名と大勢の受講者の皆様が会場に参集されましたが、会場の収容の都合もあり4部屋に分かれての受講となりました

この度は4時間半と長時間の研修でありましたが、参加された皆様方は熱心に講義を聴き入れておられた様子であり、この度の介護報酬改定に対し万全に備える皆様方の意気込みを感じました

私個人としては、居宅介護支援事業所の所属にて、主に自事業に関わる改正点に注力し聴講させていただきましたが、施設系サービス、居宅系サービスを問わず、改正点についての知識は必要である為、この度の研修に参加させていただき、その点の知識も上積みができ大変に役に立ちました。尚、今回は居宅介護支援の報酬に関してはプラス改定となりましたが、今後も安定した事業経営の為にも、要件を満たす加算等はしっかりと算定させていただき、要件が満たされない加算に関してもサービスの質の向上という観点から、今後もなるべく要件を満たし算定できるよう努力して参りたいと思いました

また、この度の改定が決定したばかりではありますが、『社会保障審議会』では既に今回の改定に向けた協議等が進んでいるとのことであり、次回の改定に向けケアマネジャーの皆様方の声が審議会へ届くことを期待し、協会がおこなう各種の実態調査やアンケート・研究活動には私自身も積極的に協力していかなければいけないと思えました